

平成22年度「米沢まちづくりプラン大賞」コンペティション

**市立米沢図書館
サポートネットワーク(仮称)
立ち上げ事業**

市立米沢図書館サポートネットワーク(仮称)準備会

2010年11月3日

新しい図書館 市民のかかわり



新しい図書館 市民のかかわり



新しい図書館 市民のかかわり



図書館は資料を提供し、市民はそれを利用する、という関係から



**図書館の運営に市民が参画する、
という関係へ(「新しい公共」)**

全国の約半数の図書館では、ボランティアとの連携・協力により活動の充実を図っています。地域の方々が自主的な組織をつくり、図書館を支援する様々な活動を行っている例もあります。このような活動は、地域の方々に図書館の機能を理解してもらう上で、さらには社会参加意識を醸成する上でも有意義な活動です。図書館の運営に対する積極的な参画をお願いします。

「これからの図書館像―地域を支える情報拠点をめざして―(報告)」(これからの図書館の在り方検討協力者会議)

図書館の利用拡大とまちの賑わい創出のために



フレゼリクスハウズ(デンマーク)

新中央図書館の4つのコンセプト

1. まちの「頭脳」
2. 独学者の「学校」
3. 地域マルチメディアハイウェイの「駅」
4. 市民文化の「サロン」

(竹内ら『図書館はまちの真ん中』)

「二重の意味での回遊性を実現する」

1. 「まちの真ん中」にある図書館に市中を散歩する人々が自由に出入りしながらまち歩きを楽しむイメージ

2. 図書館の中で人々がフロアを回遊しながら情報にたどりつくイメージ

(竹内ら『図書館はまちの真ん中』)

新図書館への市民参画に必要な 事柄

■学習する組織

■情報編集者

■担い手づくり

■本のソムリエ

■図書館情報の伝道師

こんなことも重視したい…

■ビジネス支援

■外国人利用者支援(多言語サービス)

■障がい者による利用への支援

当面の活動構想

■調査・研究

■サポーターあつめ

■定期的な学習会

■情報発信

英語・中国語・韓国語・ポルトガル語などでも

1. 事業プラン名称

市立米沢図書館サポートネットワーク(仮称)立ち上げ事業

2. 活動目的と主な事業内容

図書館運営への市民の参加拡大をはかるため、サポート組織の立ち上げに向けて、図書館運営の市民参加に必要な調査・研究、定期的な勉強会、情報発信、担い手あつめなどの事業を行う

3. まちづくりに対する公益的効果内容

図書館の利用拡大とまちの賑わい創出に効果が期待される

4. 必要とする申請資金額
30万円

5. 総額事業費
60万円

6. 事業期間
平成22年12月1日～平成26年9月30日

7. 活動団体人数
10人

8. 最終目標

市立米沢図書館の新館がオープンする2014年（平成26年）秋に、市立米沢図書館サポートネットワーク（仮称）を正式に発足させ、同館のパートナーとして活動を開始する